

5 - 1 東海地方の微小地震の分布 (1987年5月1日～1987年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District (May 1, 1987 - Oct. 31, 1987)

名古屋大学 理学部
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾に引き続いて1987年5月1日より1987年10月31日までの6ヶ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

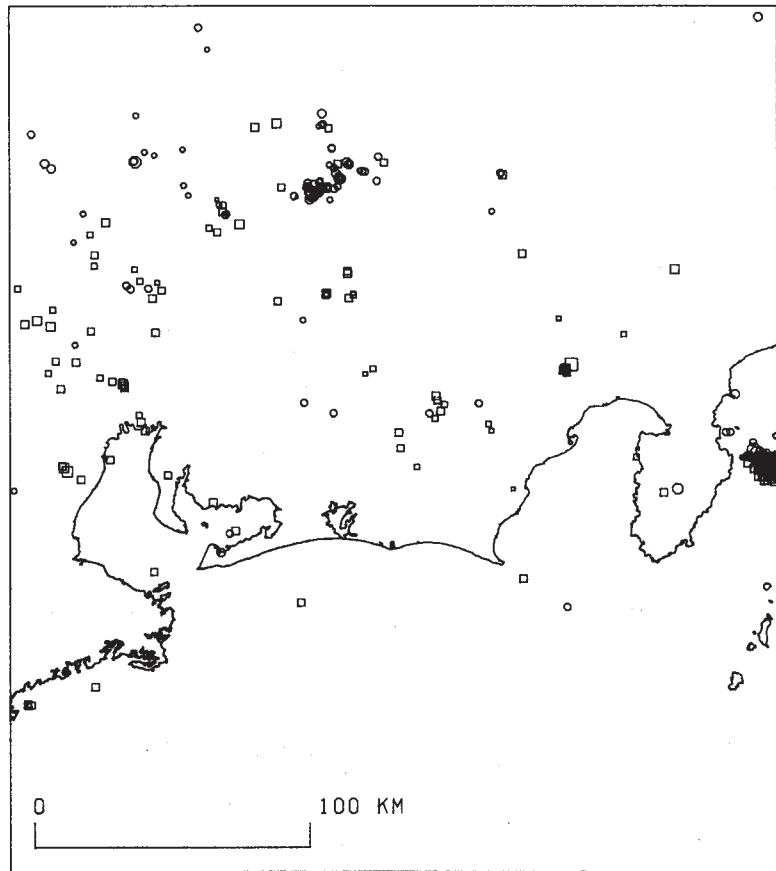
第1図に1987年5月1日より1987年10月31日までの月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された20km以浅に発生している地震の震央を3ヶ月ずつの期間に分けて示したものである。第2図は同じ期間に20kmから80kmの間の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

- (1) 伊豆東方沖では1987年5月10日から16日にかけてM5.1の地震を含む活発な地震活動があったが以後鎮静化し静穏な状態がつづいている。
- (2) 長野県西部地震の余震は依然として続いており、前報¹⁾で述べた様に4月まではやや北西の地域での活動が見られたがその後元の分布に戻っている。
- (3) 1987年8月10日に飛騨地方でM3.3の地震と小規模な余震活動が見られた。
- (4) 1987年9月25日に長野・愛知・静岡3県の県境付近直下でM3.8の地震があったが、地震活動は全般的には静穏であった。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布 (1986年11月1日～1987年4月30日), 連絡会報, **38** (1987), 342 - 344.

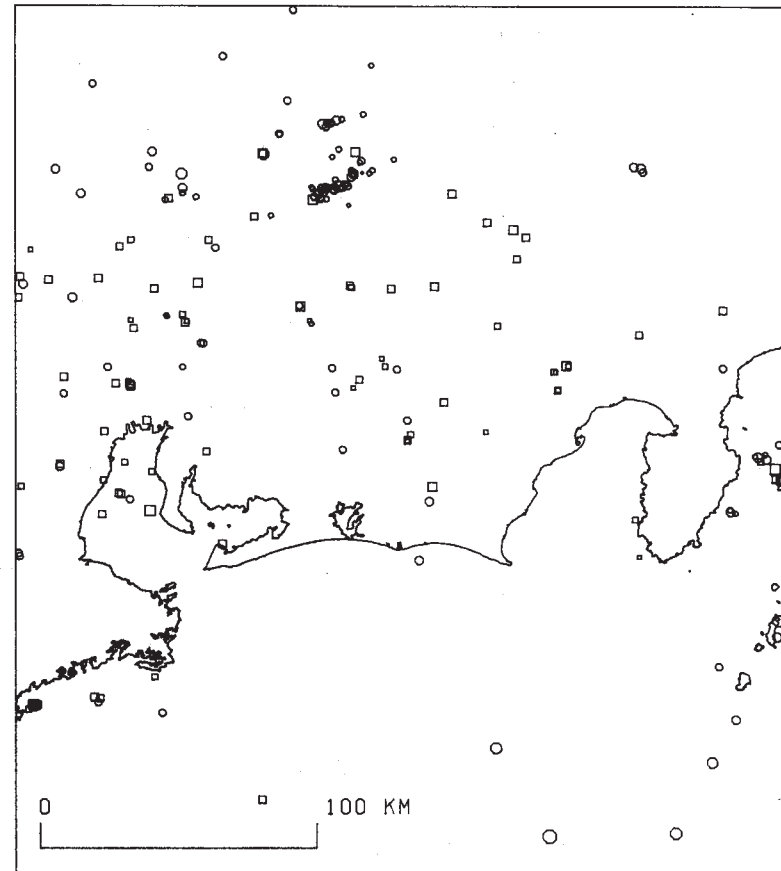


N = 375

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1987 5 1 - 1987 7 31



N = 222

DEPTH 0 10 20 KM
○ □

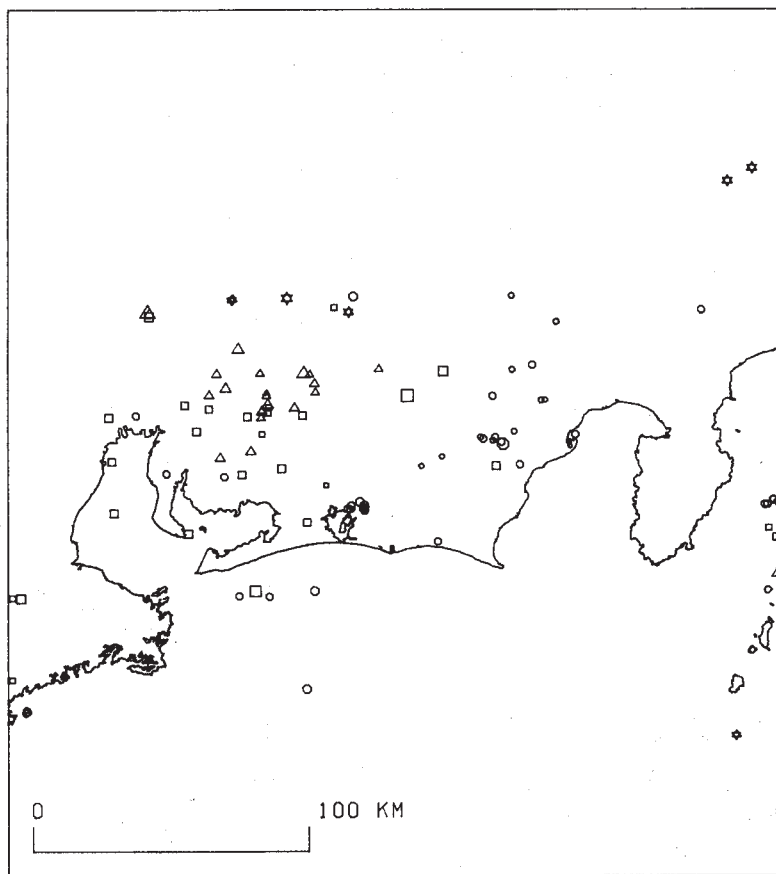
MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

1987 8 1 - 1987 10 31

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1987年5月1日~1987年10月31日) 震源の深さが20km以浅のもの

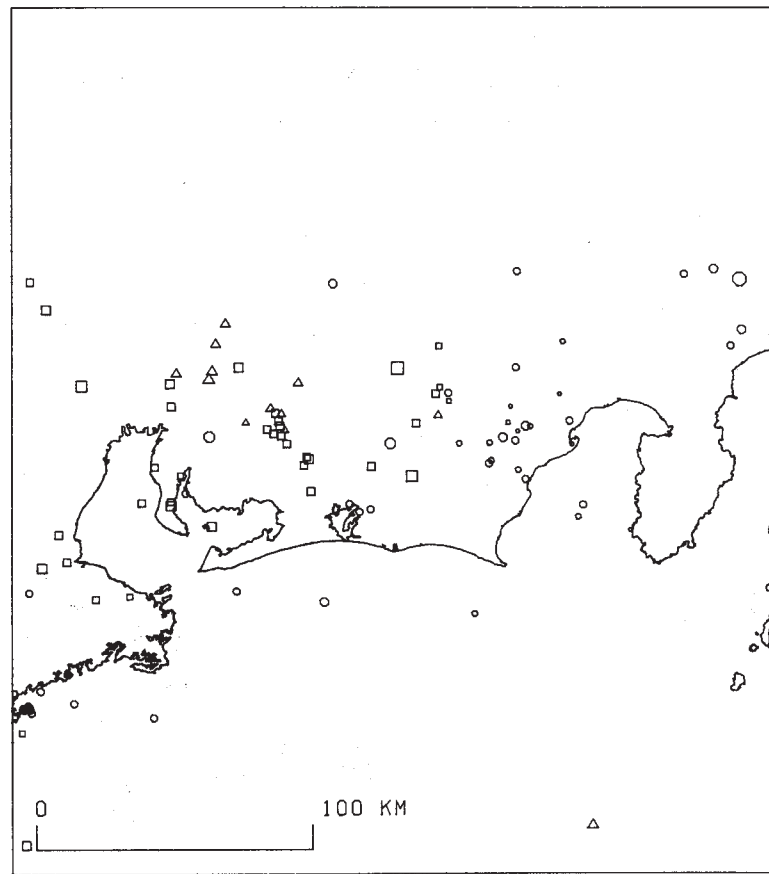
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1987 - Oct. 31, 1987) shallower than 20 km.



N = 102

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1987 5 1 - 1987 7 31



N = 110

DEPTH 20 30 40 50 80 KM MAG. 1 2 3 4
 ○ □ △ ☆ · ○ ○ ○

1987 8 1 - 1987 10 31

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1987年5月1日~1987年10月31日) 震源の深さが20kmから80kmもの

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1987 - Oct. 31, 1987) deeper than 20 km.